

《ふり返しカード》 11月 日() 校時

5年 組 名前

今日の授業で、あなたの取り組みはどうでしたか。1つ選んで、丸で囲んでください。また、理由を書いてください。

- ・ よく取り組めた
- ・ どちらかと言えばよく取り組めた
- ・ どちらかと言えばよく取り組めなかった
- ・ 全く取り組めなかった



理 由

今日の授業の内容について、どうでしたか。1つ選んで、丸で囲んでください。また、「分かった」を選んだ人は、どんなことが分かったかを書いてください。「分からなかった」を選んだ人は、どんなところが分からなかったかを書いてください。

- ・ よく分かった
- ・ だいたい分かった
- ・ あまり分からなかった
- ・ 全く分からなかった



どんなことが分かったことが、どんなことが分からなかったか



「四つの追究で社会的事象意味を考える」年間一覧（小学校 第5学年）

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元 丸数字は、時数。	わたしたちの生活と食料生産 ²⁹			わたしたちの生活と工業生産 ²⁴			わたしたちの生活と情報		わたしたちの国土と環境 ²³		
	米作りの さかんな 庄内平野	水産業の さかんな 枕崎市	これからの 食料生産と わたしたち	自動車を つくる工業	工業生産と 工業地域	工業生産と 貿易	放送局の働き	情報と社会	さまざまな 自然とくらし	わたしたちの 生活と環境	わたしたちの 生活と森林
目標	・我が国の農業や水産業について、「様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること」「我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など」「食料生産に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働き」を調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。			・我が国の工業生産について、「様々な工業製品が国民生活を支えていること」「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」「工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働き」を調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。			・我が国の通信などの産業について「放送、新聞、電話などの産業と国民生活とのかかわり」「これらの産業に従事している人々の工夫や努力」を見学・資料活用で調べ、国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。		・我が国の国土の自然などの様子について、「国土の位置、地形や気候の概要、気候条件から見て特色ある地域の人々の生活」「公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ」「国土の保全や水資源の涵養のための森林資源の働き」を地図その他の資料を活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。		
各 追 究 で 考 え る 内 容	社会的事象のしくみや様子を考える 各産業や環境保全等の様々なくみや様子を考え、その役割・重要性を考える。	・生産組合、コンクリートエレベーター、農業協同組合、農業試験場など、地域の様々な組織や施設が農家の米作りにどのような影響を与えているのか、考える。	・枕崎市のかつお一本釣り漁とかつおまきあみ漁との違いから、漁業の分類の内容や日本の主な漁港・生産額など、日本の漁業の様子について考える。	・自動車が生産・開発されている様子について生産工程、部品工場との関係、輸送方法など具体的に考える。	・工業地域の分布や工業地域が海沿いに多いわけを、原料の確保、製品の輸出と結び付けて考える。	・貿易の様子や特色について資料等を調べ、活用して具体的なデータを基に考える。	・情報を速く正確に分かりやすく伝える放送局の役割を理解し、日本だけでなく世界と結び付いていることを考える。	・身近な情報であるコマーシャルから、メディアごとの特性を調べまとめ、社会と情報の関係を考える。	・国土の位置、地形、気候は相互に関連し、地域ごとに特色があることを基礎的な資料に基づいて考える。	・京都のまちと鴨川の例を参考に都市・生活公害による環境汚染の様子や実態を自分たちのくらしと関連づけて考える。	・世界遺産である白神山地の赤石川の例を参考に、環境保全における森林資源の働きのしくみや水・生き物と関連させ考える。
	社会的事象に従事する人々の工夫を考える 各産業や環境保全等にかかわる人々が様々な工夫をしていることを考え、その役割・重要性を考える。	・庄内平野では、地形や気候などの自然環境を生かして米作りを進めていることを、苗作りの場面などの工夫で具体的に考える。	・我が国の水産業では、海流や大陸棚などの自然環境を生かして漁業を進めていることを水産業に携わる人々の工夫と関連づけて考える。	・消費者の要求に応えるために工場働く人々が工夫や努力をしていることをハイブリッドカーの開発など具体的に考える。	・中小工場の役割には大工場に関連工場の他、専門の技術を生かした特殊な製品を生産する等の特色があることを考える。	・現地生産をする工夫や輸入品に対する国内工場の努力など貿易にかかわる人々の工夫や努力を考える。	・放送局では、より良い番組を放送するために局内の人々が連携・協力していることを具体的に考える。	・情報に従事する人々が、相手や目的、伝えたい内容を考えて発信する工夫や努力を考える。	・気候条件から見て特色ある地域の人々の生活や産業、くらしの様子について具体的に考える。	・環境改善のために地域団体や行政、産業にかかわる人々が、それぞれの立場で取り組み、工夫や努力をしていることを考える。	・森林と漁業とのつながりなど、具体的に森林資源の育成や保護に従事している人々が努力していることを考える。
	社会的事象の役割・重要性を考える 産業が国民生活の維持と向上に役立っていることや、環境等の重要性を生活と関連させて考える。	・主な漁港の生産高や養殖・栽培漁業などから、水産業が国民生活を支える重要な産業であることを、近海の水産資源の減少や輸入が増えていることと関連づけて考える。	・我が国の食料生産は、自給率、安全面、環境面等、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。	・自動車などの工業生産が自分たちの生活を支えていることを自分の生活とかかわらせて便利さ・安全・環境の面から考える。	・日本の工業生産には貿易の働きが重要であり、世界の国々が豊かさを交換することが大切であると考えられる。	・情報と産業とのかかわりについて調べ、情報を活用する意義や情報社会での個人情報を考える。	・京都の鴨川の例や身近な地域を基に、環境を守るための取り組みや環境改善の取り組みの重要性を考える。	・国土の保全や水資源涵養のための森林資源の働きの重要性について、事実を基にその相互の関連についても考える。			
	社会的事象のこれからを考える これからの産業や環境保全の在り方について考え、産業や環境等の役割・重要性を考える。	・我が国の水産業が抱える問題点の改善、水産資源の確保、漁業の安全性の向上、働く人の確保、などの方策について、自分なりに考える。	・我が国の未来の食料生産について、環境、国際協調、消費者の立場などの様々な観点から、自分なりに考える。	・自分の生活とかかわりでの自動車の開発、世の中の変容について予想を立てて考える。	・貿易をよりさかんにすることを、外国との関係に貿易摩擦など様々な課題があることを踏まえて考える。	・情報に囲まれた生活の良い点と問題点があり、これからの情報活用では、情報の質を見分ける力の大切さを考える。	・環境を守るための運動や生活と環境汚染にかかわる課題について自分の考えをもち、多角的に考える。	・身近な森林の自然を保護することから、人々が協力して自然を保護することの大切さを考える。			

↓ : 単元の社会的事象の意味を四つの追究で順番に考える。

⇒ : 各追究ごとに既習単元の内容と関連させて考える。